



つゝじヶ丘だより東京

つゝじヶ丘同窓会東京支部会報

発行 函館西高等学校つゝじヶ丘同窓会東京支部 会長 佐々木 太郎
〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 TEL・FAX 03-5609-9881
メールアドレス <jimu@td-tokyo.com>
印刷所 三美印刷株式会社 題字 細見 紀子(14 回生)



ホームページURL; <http://www.td-tokyo.com>

リユニオンと同窓会

会長 佐々木太郎 (14 回生)



去る 10 月、函館の同窓会総会に出席するため北海道へ行くついでに学生時代の友達夫妻に会おうと、妻と二人で釧路、帯広に出かけてお宅にお邪魔し、久々の再会をはたしてきました。

釧路で会った O 夫人は、妻の大学時代の友人で、医者と結婚、60 歳を過ぎてアメリカで 3 年半生活、帰国後はご主人が血液のがんのため都会には住めないと鶴居村という田舎に移り住んだ人です。2000 坪の敷地に家を建て、隣の牧場に飛来する丹頂鶴を毎日のように眺められる環境ですが、近くに家はなく、買い物も車で 10 分ほど走らないと店が 1 軒もないという僻地です。二人とも 70 歳を超えており数年たったら大変だろうと心配になりましたが、当人たちはいったってのんびりしており、ストレスがないのでご主人のがんも治ったようだななどと言っておりました。

帯広で会った N さんは、僕の大学

時代の友人ですが、脱サラで農業をはじめた息子夫婦の手伝いに、茅ヶ崎にマンションを持ちながら音更の町中に家を買って移り住んでいる夫婦です。日高山脈が見える川の堤防の近くに家を買ったのですが、この夏の台風 10 号では溢水寸前の高さまで増水したそうです。河原を見ると流木と泥だらけで、台風の猛威の爪痕が残っていました。息子の農場はかなりの被害が出たようですが、ようやく復旧工事が終わったところでした。N 夫妻は 1 年のうち冬の 2 か月だけ茅ヶ崎で暮らし、残りは帯広で農作業手伝いに行くということでした。

平凡なサラリーマン生活を終え、老後を過ごしている僕から見ると、そこまでやるかというのが率直な感想ですが、新天地に移住する時に第一に考えなければならぬのは、地元との付き合いです。O さんは人里離れた一軒家なので、地元はどう溶け込むか苦労しているようでした。逆に N さんは近隣が高齢化しており、町会の長に祭り上げられそうなので、住民票を移していないとのこと、長年住み慣れたところとは違う地元との距離感を測るのが大変だと思いました。

第二に興味を持つこと、O さんのご主人は釣りキチで、自宅に池を掘り釣ってきたヤマメやイワナを泳がせていますし、奥さんはステンドグラスの製作にはまっています。N さんは息子の手伝いのほかに、自分

でも自家用の野菜を作っており、物置に大型冷蔵庫を置いて野菜を長期保存していますし、奥さんは機織りを趣味としております。歳をとって打ち込める趣味を持つことは大事なことだと思いました。

ひるがえって、わが同窓会東京支部の総会出席者の平均年齢は 70 歳、こういった老後の生き方は何かの参考になるかもしれないと思って記してみました。来年の東京支部総会・懇親会では会員の皆様の素敵なリユニオン(再会)を期待したいものです。

つゝじヶ丘同窓会東京支部 第 17 回総会・懇親会

日 時 平成 29 年 5 月 20 日 (土曜日)
午前 11 時受付・12 時開宴
場 所 東京都文京区 椿山荘 4F ジュピター
会 費 10,000 円

◆ 特別寄稿

Remember 帝国海軍駆逐艦

「橘」たちばな 2016

廣瀬菊枝(16回生 函館在住)

父は中国北支那で終戦を迎えた。抑留中、古参の兵隊に「本土は焦土と化している。物資は持てるだけ持ち自分の命は自分で繋げ」と言われ、古きレリユックを造り持てるだけの物資食料を担ぎ復員の途へ。下関に上陸、列車で北上途中、車窓から戦災にあった町の様子を垣間見ながら、本州終着青森駅に降り立つと、街の様子は空襲による戦災で焦土となり、見回す限り何も無かったという。

当然同じ連絡船発着港の函館も空襲を受け同じ惨状であろうと覚悟し、函館へ。函館棧橋到着、豊川町の家に辿り着くまで、街の中は出征して行った時とほぼ同じで、逆に「驚いた」と話しておりました。

昭和20年7月14日、この朝もし帝国海軍駆逐艦「橘」が函館港に

旧市街・西部地区伝統的建造物群

も空襲を受け、現在の景観は存在しなかったでしょう。

終戦間近、日本海軍は米軍機動部隊に反撃する兵力はもう残っていない。しかし帝国海軍駆逐艦「橘」の林艦長以下280名の乗員は、連絡船等船舶の護衛、津軽海峡警備のため函館湾で任務追行中、グラマン約80機の猛烈な銃爆撃を受け、行動自由な函館湾外に出航せず、湾内で果敢に八の字応戦、弁慶の立ち往生のように一手に敵を我に向け、圧倒的な米軍の火力に遂に力尽き、最後は葛登支(かっし)灯台沖に沈没しました。(140名戦死、31名戦傷)

乗組員の中には大東亜戦争における白虎隊といわれた海軍特年兵(14歳〜16歳の少年兵も含まれていた)。

配属間もない新兵であった「橘」生存者の三留直高氏(91歳神奈川出身)は、当日の模様をこう話します。グラマンの空襲を受け、配置について何が何だかよくわからなかった。先輩上官には「甲板に来ななつ!」と投げ飛ばされたが、合間に甲板に行ったら血の海で、滑り、動くのも困難であった。海に投げ出され、何度も海底に引き込まれ、自分はこれで死ぬんだ、両親に申し訳ないと思った。しかし、何回か浮き沈みしているうちに引き揚げられた。グラマンが飛び去った後、上磯茂辺地の漁師たちが一斉に船を出し、救助に向かって来てくれた。茂辺地小学校の講堂のような所に真新し

戦後71年目の駆逐艦「橘」慰霊祭



駆逐艦「橘」

制作 北海道建設局 平成22年



平成22年の慰霊祭

し訳ないと思った。布団に女の子の名前が書いてあり、後でお礼を思っているうちに気を失なってしまう。

い布団が敷かれ、地元の人にここで休むように勧められたが、自分は負傷している上に重油を全身かぶり、このまま布団に入るのには申し

この日の空襲戦闘を船見町弥生坂上咬菜園近くの自宅から目撃していた少年がおりました。産婦人科医の岡本杏一先生(故人)です。この一部始終を函館医師会「函医時報」に書き記されております。湾内連絡船等船舶に多数の損害があり、市街地も相当な戦災を受けた。しかし、空襲をまともに受け全市焦土となつた青森市(88%焦土)よりは函館の被害は遥かに少なかった。

因みに昭和9年の函館大火でさえ30%焦土、青森市の空襲被害の規模をはかり知ることが出来ます。帝国海軍駆逐艦「橘」が函館港に待機していたお陰で、市街地の空襲を短くし、多くの函館市民の生命と財産



が救われたのです。

戦友の慰霊に毎年

函館を訪れる三留氏は、今年、71年前にお世話になったお礼に、故岡本杏一子息夫妻と共に北斗市役所を訪れ、茂辺地漁港と小学校に寄付をされました。

私は、元町二十間坂で志ること稼業で細々のどかに暮らしてしましたが、当店のお客様であった故岡本先生が話してくれた事がきっかけで「橘」の存在を知りました。これまで、西部地区歴史的建造物群の教会寺院の片隅で当然のように平成の平和を享受してきました。現在の函館は、有史以来函館に関わった先人命をかけて函館を守った人々のお陰で、私たちの今の平和な暮らしが存在するのです。兵隊(戦闘員)も市民(非戦闘員)も命はたった一つ。たった一つの命を函館に捧げた日本の若い命があつたことを7月14日職場や家庭で思い出してあげて下さい。

【編集部】北海道新聞記事に、『今年も常連客に案内状を書き、店内には参加を呼びかけるカードを置いた。戦後生まれの廣瀬さん自身、マチから戦争の痕跡が消えつつあるのを感じる。『戦争を二度と起こさないためにも、橘の慰霊を続けたい』と静かに決意している。』と記されている。

◆ 投稿

生まれ故郷へ―旅日記

藤川 巖(20 回生)



ていて
くれる。
寒い冬
に備え、
樹を切
り倒し
マキに
するた
めの 1

人生は旅に似ている。もつと軽々と生きるつもりだった。身も心も：だが、世界中に溢れかえるあり得たかもしれないもう一つの人生とはきっぱりさよならだ。アメリカの作家で人権運動家のスーザン・ソントグも語っている。「人間が生まれてくるのは生きるためで、生きる準備じゃない」と。

生まれ故郷を離れてから一度も行ったことがない釧路へ、血縁のことごとくが失せてしまった土地へ、この夏行くことにした。道東の弟子屈町には 1970 年に出会った友もいる。土地と山を買い、家を基礎工事から一人で造っている。温泉を引いて私が入れるようにと浴槽を作り、待つ

日の労働の後、温泉につかって身体を癒すときの吐息が聴こえてくるような家だった。車で 30 分も走れば、藁と



漆喰で造った家を持つ隣人もいる。庭で焚火をし炎と煙に囲まれ、分厚い木のテーブルと切り株の椅子に座って、私たちは手触りのある時を愛おしんだ。山に出かけ採取してきた山菜のテンプラは美味しかった。男 3 人で温泉にも入った。ただ過ぎゆく時間と、友と共有できる粒子のような時間があると思った。

その場で長田弘の詩『樹の伝記』と『森の中の一日』を暗唱した。3 年前、仕事中に脳梗塞で倒れてから眠れない夜や静かな午後に、自分のために覚えた、身体の一部になったような詩だ。自然の中で放った言葉は「草の花」に負けず、みずみずしい命のように、友らの心に沁みているのがわかった。

旅に出て 3 日目、砂川市の駅前で「いわた書店」を営んでいる友人の下へ。弟子屈町から砂川市へは車で 5 時間余り。6 人を乗せて車は走る。どこまでも空が広い。函館とはまるで違う。土曜日は 3 時閉店だと言っていたが、店を開けて待っていてくれた。店に入っすぐ眼の高

さに、新刊の文庫本、高橋和巳の『憂鬱なる党派』が並んでいた。どの本も少々照れながら、でも誇らしそうに見えた。友の本に対する誠意と愛情にあふれた店内だった。

私たちが出逢ったのは 18 歳だった。それから 46 年。故郷へ帰って父親の店を継いだが苦戦が続いた。が、数年前から「1 万円選書」と名付けた本の販売を始め、今は全国から注文が舞い込む。読書家の店主が、あなたにぴったりの 1 万円分の本を選んで送ってくれるというサービスだ。再会の宴の店には、車椅子を友に代わる代わる押して貰って行った。私は幸せだった。その席で「ずっと逆風だった」と呟いた友のために、また長田弘の詩を暗唱した。

旅の最後は、高校の同期生が営む石狩当別町のパン屋『ノルエッセン』を訪ねた。天然酵母で作る、一切添加物の入っていないおいしいパン。そんなパンを食べたいなら自分で作るしかない、とパン屋を始めたという。ここにも生きることがそのまま労働であり得る人間がいるのを知った。もちろん、その場で食べたパンととうきびは旨かった。

夏の旅は終わった。60 年を超えてもまだまだ私たちは生きていることをこんなにも楽しむことができた。とはいえ、脳梗塞で傷んだ私の左半身と、旅の前に手術の予定を組んだ前立腺がんが帳尻を合わせるように私を待っていた。苦しいさな

か、旅の思い出が私を優しくさすってくれていた。
友よ、旅に出かけよう。

西高のスロープが

NHK BS 番組で

青木 保(21 回生)

7 月 13 日、視聴者から寄せられた手紙に書かれたエピソードをもとに、俳優日野正平が自転車でこの風景を訪れるという NHK BS プレミアム「につぼん縦断こころ旅」で、西高正面に繋がるスロープが紹介されました。

札幌在住 65 歳女性からの手紙は、幼少の頃いつも優しく西高の数学教師だったお父さんの帰りを、スロープで待ちながら見た函館の風景



「函館西高等学校の正門に繋がるスロープ」
札幌市 中辻 みゆきさん(65 歳)

とスロープが思い出深いので、是非訪問してほしいという内容でした。日野正平が函館市街地を自転車で行き、朝市・ベイエリアから八幡坂を一気に西高へ向か

つてスロープにたどり着き、そこで読まれたこの手紙に感動しました。3年間通った西高玄関までのスロープは、石碑から始まる左は高くそびえた石垣、右に見える函館の街並みも、私にとってもまさにこの風景です。

◆回生だより

3回生「同期会」を開催

5月26日開催しました。東京支部（三喜会）会長名にて、40名程に今回がおそらく最後になるかもと云う呼びかけをしましたところ、遠



方より函館3名、関西他22名の参加の返事有り、懐かしい面々に会えてとても楽しい同期会でした。卒業後60年以來の人もあり嬉しかったです。（望月晴夫）

9回生「最後?の一泊旅行」

5月27日、今年で25回目になる



恒例の一泊旅行ですが、案内状を出すときに「世話人加齢により今年で最後にします」と書きましたら、何と28名もの人が参加してくれました。函館からも

8人、熱海駅に三々五々集まりいつもの「ラビスタ伊豆山」へ。宿からは山桜と駿河湾が見え、桜の花びらの浮かぶ野天風呂に入り、6時から宴会。おしゃべり、飲み、食べて、話がつきません。二次会は、函館名産うにの箱盛りなどで盛り上がった。今年で最後の筈が、自己責任で体力と脳力を鍛え、家族に心配をかけるないようにするという事で、あと数年頑張ることで一件落着。

二日目は、小田原の風祭かまぼこの里「千世倭樓」で昼食をとり、解散と成りましたが、有志は市内を歴史散策して、帰路につきました。

伊豆山に 集いほころぶ 桜花青春の顔 ふるさとの香

（徳田紀美子）

14回生「古希の修学旅行」

「三陸海岸」世界遺産・橋野鉄鉱山そして遠野」への二泊三日の旅で



した。5月29日（日）盛岡駅に北は江別、南は京都から26名が参集、東京からのミニバンとレンタカー5台で盛岡駅を出発、一路日本3大鍾乳洞の

一つ「龍泉洞」へ。殆どの方が踏破し、「北山崎」近くの津波に被災し復興した羅賀荘に到着。入浴後の宴会は札幌から来た林君の名司会でカラオケも大盛況。その勢いで幹事部屋に移動し25時過ぎまで二次会。（注：龍泉洞や小本川流域は8月末の台風10号の豪雨で甚大な被害を受けた）

二日目は日本一の景勝地「北山崎展望台」そして「浄土ヶ浜」を経て、津波とその後火災で全滅した「山田町」に入る。北山崎から海岸線は大堤防の工事、僅かに被災された方々の仮設住宅が散在、あとは国道や県道の復旧工事現場。カーナビは殆ど機能せず、壊滅した山田町では一週間ごとに道が変わると話していた。「壊滅した町で復興の昼食を」ということで

地元料理。お土産に地元の大吟醸と生カキの燻製を戴き、一路世界



遺産・橋野鉄鉱山へ。各車、迷カーナビに振り回され遅延到着。

150年ほど前に南部藩大島高任の指導の下開発され、富国強兵にも影響を与えた明治日本の産業革命遺産として登録された洋式高炉跡を、案内人の解説を聞き、足元の遺物に触れながら散策した。その後、標高900mの「笛吹峠」のヘアピンカーブを下り、やつと遠野に入る。

夕方の遠野は穏やかで、三方を山々に囲まれた盆地は田植えも終え、長閑な田園風景は三陸海岸を見てきた私たちの心をとて安らげてくれた。「カップの淵」に寄り、夕方「民宿とおの」に入る。全館貸し切りで「濁酒」と「板の間の炉端」の写真に引かれて予約したが、昔の木賃宿風にびっくり。何とか皆さんの我慢で乗り切れた?

3日目は、遠野「伝承園」で歴史と風土に触れ、「道の駅・風の丘」「宮沢賢治記念館」へ。定刻どおり新幹線「新花巻駅」到着。再会を約し、名残り惜しい中それぞれの帰路についた。（若林郁雄）

11回生「127名で函西三六会」

函館西高を卒業後40周年以來5年ごとの節目に行ってきた同期会。今回は卒業55周年記念と北海道新幹線開業を祝って、5月29日に函館湯の川のホテル河畔亭を貸し切って行った。恩師はご都合がつかなかったが、これまでで最多の127人が

集まり大盛会となった。

「イカクイズ」や「新幹線クイズ」に興じ、新城光正君作の大スクリーンでの懐かしい映像上映など、これまでにない趣向をとり入れた。文化祭での仮装行列、キャンペーン、部活、修学旅行の若い頃の姿を見て「○○君だ!」「△△さんだ!」と歓声を上げていた。2 時間半はあつという間に過ぎ、校歌や応援歌を歌い、一番遠方のケニアから駆け付けた岸田信高君の締め乾杯でお開き。

翌日は 2、3 次会で寝不足ながらも 35 人ほどが元町を散策して西高を見学。そして五島軒でカレーライスに舌鼓を打ち、2 日間の熱いイベントを終了した。

岸田信高君のケニア（ナイロビ）での 30 年以上のボランティア活動を書いた本が出版されており、是非、一読をおすすめ致します。

NPO 法人「少年ケニアの友」編

『ケニアへかけた虹の橋』

発行社 春風社 ☎ (045) 261-3168

(守村・若林)

9 回生「最多の 第 57 回函館同期会」

グリーンと白のかっこいい「はやぶさ」に乗って新函館北斗駅に降り立ちました。新鮮な気持ちで函館へ・・・はやぶさは満席で新幹線効果は充分あるようです。

同期会は 9 月 26 日五島軒で行われ 53 名が集まりました。案内状に、



高 3 の時テ
ーブルマナ
ーを学んだ
所、とありま
したが、結婚
式を挙げた
という人も
多く盛り上
がりました。
参加者の 6
割は地元の人
ですが、毎
年持ち回り
で世話役を
引き受けて
くれている
事にとても

感謝をしています。故郷は情景と美味しい物と懐かしい友達がいてくれることが何物にも代えがたい魅力となつています。二次会は同期の店「ユアーズ」で 12 時までおしゃべりやカラオケに張り切りました。

後日幹事さんから写真と記録を頂きましたが、それを見てびっくり。第 1 回目 20 歳のときで、その後一度も休むことなく今回にいたっていることに驚きました。40 歳のときは最多の 150 名が参加、60 歳では 87 名。今後何回まで続くかわかりませんが、素晴らしいことだと思えました。
(徳田紀美子)

2 回生「東京地区二期会」

今年も 10 月 8 日(土)、東京同期会

が例年同様銀座四丁目クリスタルビル(通称フジヤビル)7 階の桃杏楼で行われました。我々二期生は旧制中学校・高等学校の最後の年という事もあり函中・市中・高女・女子高の各校からの生徒の集まりという会ですが、東京・関東一帯に案内状を出して居ます。当初は 130 人程だったのですが、年々少なくなり今年は 80 人に出したところ出席は 25 人(返信は 60 名)でした。皆 82 歳を超えており、毎年数名位ずつお亡くなり残念です。

同期会は学生時代同様に談論風発で、正午から 4 時間旧制時代・新制時代の話等で旧交を温めています。当時の先生も渡辺先生がお亡くなり現在は大谷先生(旧姓工藤先生)に毎回ご出席頂いております。相変わらずお綺麗、我々よりも若々しいくらいです。

年々参加人数は少なくなるのは止むを得ませんが、皆元気でいる限り何とかこの



り何と
かこの
西高東
京地区
二期会
は今後
も続け
たいと
思っ
ていま
す。
(納代
鉄也)

32 回生「第 5 同期会」

10 月 9 日(日曜日)。3 連休の日とあり、今回は吉田先生を含めて 7 名でした。第 5 回函館西高同期会イン東京は、珍しく雨、風強い嵐の中の集まりとなりました。例年のごとく今年も、ホテルニューオータニ東京のレストランの個室をお借り出来て一安心。吉田先生のお元気なお姿、変わらぬ同期生のお顔。それぞれ近況報告を笑みこぼれながら語らい、楽しいひと時を過ごしました。



スマホで参加の、函館在住の同期生女子。元気なお声も変わっていませんでした。また、集まりを続けていけたらと思います。
(佐々木雅子)

19 回生「4 年振り同期会」

10 月 29 日、前回開催が 2012 年なので 4 年ぶりに同期会を実施しました。上野公園の西郷さんの銅像前にある旦妃楼飯店(中国料理)に集合しました。22 名参加、1 名二次会より参加で、23 名がそろいました。

二次会では、語り合うのとカラオケどっちが良いかと尋ねると、圧倒

的に「語り合う」でした。二次会は居酒屋で18名参加、三次会も行くといいだし13名アメ横の居酒屋へ。話は尽きることなく続きました。

19回生は東京方面に残っている人は90名ほど、今回64名に声をかけましたが23名の参加でした。



(藤谷敏雄)

振込用紙からのお便り

佐藤マサ(高30) 高齢の為今年をもつて退会させて頂きます。長い間有難うございました。

浅岡文子(高31) 新幹線に乗りたくて何十年振りかの函館でタクシートの運転手さんから合併の話を聞きショックでした。誇りある母校の伝統が活かされる様祈っています。

照井陽子(高32) お支払いは今回で最後にします。今後母校のニュースは余り耳にしたくないので…。

永井たか(高34) いつもお世話おかけします。有難うございます。

森谷セツ(高35) 85歳まで医業を続け86歳より余生を楽しんでいます。

森アイ子(高35) 来年は90歳になります。同窓会に出られたら嬉しいと思います。居ります。

館 和子(高36) いつもお便り有難うございます。

谷本から子(高36) よわい89歳に成つていまだに「つゝじヶ丘」のニュースを頂くなんて感謝感謝です。ますますの御発展を祈ります。

久保タミ(高38) 皆様のご健康をお祈り申し上げます。

近藤すみ子(高40) 87歳と成り元気に暮らして居ります。

増谷純雄(2) 横浜の金沢八景から移って十年目を迎えて居ります。月山、鳥海山を庄内後より一年の四季を巡って変貌する姿を窓外から眺める幸せを感じている。

小島 将(3) 関係各位の一層のご繁栄をお祈りします。

菊池不二子(3) つゝじヶ丘だより東京をお送りいただき有難うございました。

望月晴夫(3) 補助金受領いたしました。ありがとうございます。

阿部英一(4) 同窓会の益々の発展を祝います。

尾島由紀(6) いつも有難う御座います。楽しく拝見しております。合併話は初耳ですが両校にとり良い形で話し合えます様に願って居ります。突然の地震で驚きました。皆

様ご無事何でしょうか？

笹原久子(6) 昨年入院生活を始めてしまいましたが今は元気に成つてきて居ます。現在は月一回通院しています。

酒井 迪(6) 益々の御発展を祈念致します。

鍋倉和子(7) 統合の件ですが19年になったそうで 去る6月東川小学校東京での同窓会の際に夫が聞いて来た。

渡辺泰子(7) 次回より名簿からの削除、通信の停止をお願いいたします。お世話になりました。

藤井弘子(9) いつも情報誌ありがとうございます。懐かしく嬉しく拝見しております。

大谷長弘(9) 会報16号を有難うございます。懐かしく読ませていただきました。

木村芙美(10) 会報いつも送って頂きありがとうございます。

麻生直子(10) 昨年はありがとうございました。今年二月函館市文学館にて講演月刊会報「ステップアップ」3月号に執筆しました。

荒木賢治(10) 今年函館にて同期会あります。

西山俊子(10) 孫が結婚し里帰りします。私は運転免許証の更新出来ました。

岸田信高(11) 2017年の同窓会には始めて出席出来るとおもいます。来年5月には帰国予定。

深江雅子(11) いろいろお世話になり、ありがとうございます。

田沢義武(11) いつもありがとうございます。

葛西捷行(11) 体調が悪くなかなか函館山を見に行かれず残念です。

岡田修二(12) 事務局の方々のご尽力に感謝いたします。

大江愛子(12) 以後「つゝじヶ丘だより東京」の配送は不要として下さい。又会員を脱会したく思います。以後手続きを中止して下さい。

枝窪義明(内) 節子(12・8組卒業) 枝窪義明は昨年7月12日永眠いたしました。生前中に賜りましたご厚情に深謝いたしますと共に会の益々のご盛會心よりお祈り申し上げます。連絡が遅くなり申し訳ございませんでした。

根本弘子(13) いつもお世話になります。皆様の末長いご健康をお祈りいたします。

山崎和雄(13) ご苦勞様です。会報「つゝじヶ丘だより」を読むのを楽しみにしています。

網 裕子(14) 皆様の御健康お祈り致しております。

坂本喜久子(14) いつも お世話様になります。

猪 しまこ(16) 盛り沢山の「つゝじヶ丘だより」楽しく拝見しました。事務局の方々、編集の方々本当にありがとうございます。

夏井秀夫(16) ご苦勞様です。

鈴木卓雄(16) 統合の話ね！私の住む地域でもやっています。

松岡俊治(16) 大変遅くなつて申し訳ありません。これからもよろしく

お願い致します。
土橋陽子(16)不在の為遅れて申し訳ありません。
岩山真一(17)同窓会役員の皆様に感謝いたします。すばらしい会報有難うございます。

市野修一(17)ご苦勞様です。

中川 隆(18)御連絡が遅くなりしました。今後とも宜しくお願いします。佐々木佳子(18)御無沙汰致しております。東京支部の皆様何かとお世話頂きありがとうございます。

金谷守康(19)ご苦勞様です。宜しくお願い致します。

二階堂功(20)とても元気に過しております。

宮本久仁子(20)ご活躍にいつも敬服いたしております。有難うございます。

平 智則(21)いつもご苦勞様です。瀬戸聖司(22)末長同窓の輪を作って行して下さい。

武内洋美(23)いつもお世話になり、ありがとうございます。

つゝじヶ丘同窓会本部 総会・懇親会に出席して

会長 佐々木太郎(14)

10月第一金曜日、7日18時から五島軒で平成28年度総会・懇親会が開催され、東京支部を代表して出席、出席者は来賓、職員等を入れて約240名、例年より少し多かったようです。

今年4月に着任した小松信夫校長のご挨拶の後、総会部分は資料を配布のみで、すぐに吹奏楽の演奏に。今年は楽団男子の割合が多く、腕も上がったようでした。楽器だけでなく部員の歌もあり、楽しい演出になっておりました。

懇親会に入ると卒業生中心の集いとなり、当番幹事は26回生で同期の出席は27名、代表者がランニング・短パン姿で挨拶されたのはびっくり。懇親会の趣向として初めて経験したのは、終了間際に女性を全員壁際に立たせて、男性がその前を歩きながら全員と順番に握手するというもので、東京支部の港踊りのような面白い企画でした。

札幌支部創立50周年記念 総会・懇親会に出席して

副会長 高橋順吉(17)

10月22日(土)、総会前に講師・森真沙子さん(西高11回生)による記念講演があり、総会では来賓9名会員60名(20人が初参加)の盛会となりました。支部長(浅野元広18回生)挨拶、議事進行、感謝状贈呈の後、参加者全員の写真撮影がありました。懇親会では校長小松信夫氏、本部副会長毛利悦子さん(16回生)の挨拶の後、祝杯音頭として紹介された私が乾杯を行いました。

在校生の「ビデオメッセージ」「ビングゲーム」等があり、校歌・応援歌の後乾杯で幕を閉じました。「高校生新聞」が配られ、今年7月に書道部門で西高3年若山翔君が文部科学大臣賞を受賞しました。

母校合併問題の説明もあり、興味深いのは、西高校歌には西高の名称が入っていないのでそのまま合併後の校歌に使用できるのではという期待もあるようです。

他校同窓会との交流

関東青雲同窓会

学年幹事長 竹澤秀明(17)

5月28日(土) 函館東高の同窓会は「目黒雅叙園」にて開催されました。出席者は同窓生152名、来賓10名でした。同校は、毎年50才を迎える同窓生が幹事となり実行しております。今回参目についたのは半数以上が60才以下の若い参加でした。食事は着席で中華の卓盛りでした。今回のアトラクションは、プロジェクト画面をみて問題形式による各テーブル対抗戦。また幹事学年による応援団(羽織袴、高下駄+学ラン姿)も受けていました。

函館ラ・サール学園同窓会東京支部

常任幹事 西山和子(23)

函館で震度6弱と報道が伝えた

その2日後の6月18日(土)、函館ラ・サール学園同窓会東京支部の懇親会に出席して参りました。梅雨時にもかかわらず、温度計は33度を示し真夏日でした。場所は、水天宮前にあるロイヤルパークホテル。

会場には250名位の方々がお集まりでした。暑いこの日、熱気と言いますか、男子校の熱い雰囲気を感じました。そこに私と、PTA関係のお母様方など数える程の女性陣という空間でした。でも、和気あいあい、若い世代の方々への参加が多く、活気が溢れていました。私も会場で多くの方々とご挨拶し、お話をさせていただきました。ラ・サール学園は50年を超える歴史だそうです。昨年のラグビーの全国大会出場など文武共に活躍しているようです。

東京函商同窓会

学年副幹事長 佐藤雅英(18)

梅雨の合間の6月25日午後1時、第一ホテル両国で開催された東京函商同窓会に参加しました。我々来賓は懇親会からでしたが、その前の総会において8年間会長職にあつた汐谷氏が退任し、後任に幹事長の道下氏が就任する人事案が承認されました。懇親会は、初参加者の紹介、余興(獅子舞・相撲甚句)、抽選会と続き、SHOP販売、有志による校歌・応援歌の熱唱の後、顧問による万歳三唱でお開きになりました。参加者125名。

函工同窓会関東支部

事務局長 齋藤勝美(13)

10月8日(土) 13時から、日暮里のホテルラングウッドで開催された。冒頭に昭和28年卒業の弁護士松田昇さんの特別講演が有りました。内容は「ロッキード事件」の裏話などの興味深い話でした。当時松田さんは東京地検特捜部の検事で田中元首相を逮捕された方です。

講演の後、第一部総会・第二部懇親会と続きました。懇親会では恒例の抽選会・じゃんけん大会が有り、初参加者の紹介には昨年卒業した若者が居りました。来賓・各科の集合写真・応援歌・校歌で幕を閉じました。参加者は来賓者を含め86名、開催時間3時間で非常に良い雰囲気でお開きに成りました。

白楊ヶ丘同窓会東京支部

会長 佐々木太郎(14)

10月22日(土)、ホテルグランドアーク半蔵門で開催された40回親睦大会に出席してきました。出席者は約130名、プラス来賓9名でした。終了時に安田支部長から昭和49年卒の白川副支部長にバトンタッチされるといふことで、ずいぶん若

返った印象。校長先生のご挨拶では、この春の卒業生237名の進路は国立大現役合格者が113名であったと報告があり、本州に来た人も100名を数えるそうです。また部活も盛んでバスケット、テニス、剣道などでは目覚ましい成績を上げています。イベントとしては津軽三味線の全国大会で優勝した北村姉妹が演奏しました。最後は校歌斉唱、平成9年卒の若い人が3本締めをして終了しました。

東京支部ゴルフ会報告

学年幹事長 竹澤秀明(17)

11月1日に、第4回ゴルフコンペを開催しました。午前中雨の予報でスタートしましたが、2番ホールには雨も上がりました。場所は茨城県オールドオーチャードゴルフ場、ゆったりとしているが結構難しいコースで、参加者は体調不良や所用で欠席が増え、8名と今までになく寂しいコンペとなりました。優勝は森英爾さん(9)、準優勝は佐々木次郎さん(16)、3位は竹澤秀明(17)でした。同窓会の皆さん一緒に楽しみませんか。ご連絡は三村又は竹澤迄。三村寿雄(13) 090-8513-4497 竹澤秀明(17) 090-6797-7092

皆様の、出来事や思い出、旅行などの「投稿」をお待ちしています。

事務局活動報告

事務局長 齋藤勝美(13)

(平成28年6月～11月)

- ① 会報第16号発行・発送
- ② 事務局会議及び会報第17号編集会議(2回)
- ③ 第17回総会・懇親会準備、椿山荘との交渉
- ④ 本部総会(会長、札幌支部総会(高橋副会長)への出席
- ⑤ 他校東京支部総会出席者決定
- ⑥ 新事務局員に石馬場裕子(35回生さん参加
- ⑦ 同期会への補助金支払い(7件)
- ⑧ 事務局員親睦会開催
- ⑨ 会報第17号発行・発送

会員の皆様へのお願い

東京支部活動の充実のために
年会費(二千元)の納入にご協力を

同窓会は年会費と総会・懇親会会費で運営されています。同窓会活動を今後とも維持・活性化していくために、会員の皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます

★同期会開催補助のお知らせ

東京支部では、同期会の活性化を目的に、会員が同期会を開催した場合に、開催報告をホームページに掲載することを条件に年一回五千元の補助をしております。

補助を受ける際、申請書を提出して頂きますが、申請書の様式は東京支部ホームページからダウンロードできます。

《編集後記》

引き続き16回生の廣瀬さんから寄稿いただきました。今後ともご協力を戴き、函館の歴史を学んでいきたいと思っております。秋号は同期会や他校との交流が多く、原稿内容の一部割愛しました。ご了承下さい。○校正作業が終わろうと云う時、トランプ氏の当選のニュース。私のように戸惑いを覚える方も多いことでしょう。

若林郁雄(14)

個人の尊厳を大切に、その人らしさをいつまでも...

八王子 特別養護老人ホーム 偕楽園ホーム
秋 葉 特別養護老人ホーム 瀬戸の里
面 積 特別養護老人ホーム 戸井湖寿荘
成 果 特別養護老人ホーム みずなみ瀬戸の里
成 果 特別養護老人ホーム ニッ森ホーム

2008年、岐阜の「嵐の嵐」が優良民間施設として天皇陛下より表彰されました。

医療法人社団新谷会 新谷医院 東京都府中市日野町2-30 TEL.042-361-9419 国字野と和歌山(両国1線)